

知念こども園

「知念の宝石」 ～光って不思議だね～ 5歳児クラス

【コマ・スタジオ作り】11月3日(木)

部屋でコマ遊びをしていると床の隙間でとまどく回らないことに気づいたり、周りで遊んでいる他の遊びが気になったり、どしたるもつとコマ遊びが楽しくなるかを考えたこともあった。「テーブルの上で回した方がいいかも」とアイディアが！1テーブルの真ん中を囲って、テーブルの上でコマを回し、周りにいると、テーブルから落ちるから楽しくないという声が！「そうだ！横に線ボールをくっつけたら落ちないはず」とコマ・スタジオ作りが始まりました。



高さがあってコマが落ちるから、テーブルにしよう。



1日の要とのつながり
[思考力の芽生え]
[言葉による伝え合い]
[協同性]

オー！いい勝負！
どっちが勝つか？

【コマ・スタジオに光を当てたい】11月14日(水)

8君が「コマ・スタジオに光を当てたらもっと楽しくなるかも」と提案してきました。懐中電灯を準備すると、友だちも興味を持って協力し合いながら、角度を調整したり、どうしたら懐中電灯が固定できるかと考える姿も見られました。キラキラ光る折り紙にライトが当たると「とってもキラキラしてる！きれい」と喜ぶ姿や、直接カラーセロファンを懐中電灯にくっつけて「光が青になった」と不思議に感じている姿があった。



もう少し上にあげたいかな！

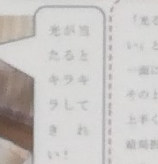


高さはこれでいいかな？

もう少し小さくして低くしよう。



光が青くなった！



「光が当たるとキラキラしてきれい」とテーブル一面に貼るが、その上でコマが上手く回らず、結局折り紙をはがす。

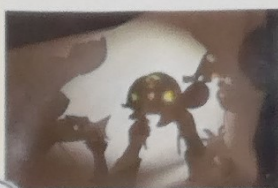
【夜の動物園作り】11月29日(金)

お泊り保育当日、「こどもの国」で楽しんで帰ってきたこども達は一体みした後、すぐに「夜の動物園」作りをする。先生が用意してくれた型紙から好きな動物を選び型を取り、穴をあけシーグラスを貼り付けていく。



【夜の動物園、はじまり！！】

夕食を食べ、お風呂に入った後いよいよ「夜の動物園」のはじまりー！一人ひとり作った物をスクリーンの後ろに行き、光を当てて見せる。懐中電灯を後ろから当てる係の人など、自分たちで役割分担もしていた。一人でやる子、ペアやグループでやったり動きをつけたり、思うように表現を楽しんでいた。



6

【保育教諭の環境構成】12月5日(木)

お泊り保育が終わると同時に影絵遊びや光の遊びをしなくなってしまったこども達。このまま遊びが終わるのは勿体ないという事で、和紙を段ボールに貼ったテレビの様な物を、部屋に設置してみた。



一度、光で遊んだことがあるので、すぐに遊び出すこども達。最初は形のある物を作ったりして、影が映るのを楽しんでいた。動きもつけながら「ドラゴン」とイメージしながら遊んでいた。

【保育教諭の願い・援助】

形や動きだけでなく、シーグラスの時のように色も楽しんでほしい。カラーセロファンなどを環境として置こうか、どう置こうかと考えていた時に、こども達が廃材の容器に色を塗り遊んでいた。「この容器に光を当てたらどうなるかやってみよう？」と保育教諭が提案すると「やってみよう」という答え。



【綺麗な色も映ったよ！】

色を塗った容器に光を当てて見ると、色も綺麗に映っていた。自分で懐中電灯を当てながら映り方を確認したり、お友だちにってもらったりして楽しんでいた。



折り紙も光を当てたらどうかな、などいろんなものに光を当てて試す姿もあった。



【光の色が変わるよ！】

色のある物に光を当ててどう映るかを楽しんでいたこども達だったが、懐中電灯にカラーセロファンを貼ると光の色そのものが変わると気づいたAさん。カラーセロファンを貼って映る明かりを満月、何も貼っていない明かりを太陽みたいと表現していた。何かを映して遊んでいたこども達だったが、子ども同士で少し話を作ったりという遊びが始まってきている。



【考察】

・日頃から担任の先生はすぐにこども達に答えを出すのではなく、問いかけて考えさせる声かけを意識している。その過程があり、コマ遊びで、回りにくくすることに気づき、どうすればいいかを考え出す。自分でテーブルを準備し場所を決めたことで、より遊びに夢中になり楽しみ始めることにつながった。遊びのこむことで「コマ・スタジオに光を当てたらもっと楽しくなるかも」とアイディアもでて光に興味、関心につながり、そこから子どもたちの意欲と、教諭の願いのバランスがうまく融合し遊びこみになった。
・身近な自然物を使い楽しむ事で光の美しさや不思議さに繋がった。廃材や折り紙も使いながらいろんな発想を光で表現している姿は創造性の芽生えに繋がっている。

3

【ホントの宝石持ってきた】11月20日(水)

次の日、昨日砂場で宝石集めをしていたうちの一人がN君「先生へほんとの宝石見つけて持ってきたよー」先生「うわぁ！ほんとにきれいな石だね」N君「だから！石じゃなくて宝石だよ！」先生「そうだよね、宝石だ。どこで拾ってきたの？」N君「玉城の海。」先生「紫色好きって言ってたからこの紫の宝石あげる」N君言うてクラスに戻っていた。クラスの他のこども達も「ほんとの宝石」に興味津々。

4

【みんなで宝石取りに行きたい】11月26日(火)

N君はその後、宝石集めに夢中で図鑑を見たり、玉城の海に行ったらキラキラした宝石を拾って園に持ってきた。海に行くと、N君が持ってくるような宝石がたくさんあるかもしれない。みんなで宝石取りに行こうということになるが、28名で玉城の海に行くのは難しい。クラスで話し合い、知念の吉富の海に行ってみようという事になった。そして、知念の海へ散歩で行ってみると、探していた宝石は少なく、石を探す子もいたが、シーグラスがたくさんあり、シーグラスを「宝石」と言う子もいた。シーグラスということを知っている子が「これはシーグラスって言うんだよ」と教えてくれた。



こども達はシーグラスに夢中になり、袋いっぱいシーグラスを拾って帰ってきた。

シーグラスをたくさん拾ってきたこども達だが、シーグラスを使って遊ぶことがなかった。

【保育教諭の願いと環境構成】

- ①たくさん拾ってきたシーグラスを使って遊んでほしい。
- ②5歳児クラスは以前の遊びの中で懐中電灯を使って光を当てたりしていたので、光の不思議にもっと気づいてほしい。
- ③お泊り保育があるので、その夜を利用して光で遊ぶことはできないか。
- ④お泊り保育で「こどもの国」へ行くので、題材は動物で。
- ⑤シーグラスもたくさんあり、光を当ててくさくさいという事で、先生達が、動物をモチーフにひとつシーグラスを使って作る。



こども達に、まずはそのまま見せる。そのあと、光を当てて見ると「すごい！きれい！」「作ってみたい」など反応も良く、みんなで作ってみたいという事になった。

こども達のリクエストも聞きながら担任の先生達が動物の型紙をいくつか用意した。

お泊り保育の前という事で、「お泊り保育の夜にやったら楽しそうじゃない？」と提案すると「楽しそうー」「夜の動物園みたい」「夜の動物園作るよ」という声が上がってきた。

お泊り保育の楽しみがまた一つ増える。